

守門・下黒姫沢ルート山スキー報告

【山城】新潟県・魚沼：守門岳

【日時と天候】2017年3月18日（土）曇り一時晴れ

【メンバー】CL吉川・柘植・庭田・菊池（記）・会員外2名

【行程】

千葉（菊池家 3:15）—小出 IC—大白川大自然館前駐車一橋（破間川）8:31—林道—下黒姫沢—尾根—台地—雪の砂漠—12:50 稜線下20m（1310m）13:10—往路に沿って滑走—15:30 橋—音松荘



・守門岳の山スキーは私にとって今回で4回目です。以前はいずれも二分から大岳のルートでした。山スキーを始めて間もない20年ほど前の4月に2回、4年前信濃町在住の時にNBSCのメンバーに誘われて1月2日の大雪の日、一晩に1mほどの降雪があり、雪の降りしきる中、苦勞して向かったが二分部落で雪崩の除雪を手伝い駐車スペースによりやく到着、キビタキ小屋まで何とか進み、ブナ林の超デープパウダーを経験、帰りの交通止めの高速道路が解除になったが、中郷～妙高高原でトラックが登れなくなり、1時間ほど高速道路で動けなくなり冷や汗物であった苦い思い出があります。この豪雪地帯の山スキー適期はザラメ期の4月に入ってからと考えており、3月中旬での入山は初めてです。この時期、全国的に好天であっても、魚沼地区は特異的に不安定な天気になることは以前から知られているが今回も、すっきりしない天気であった。雪の安定しない3月の山スキーは難しいが黒姫の稜線下に広がる広大な雪の砂漠の報告を目の当たりにす

ると、大いなる期待感を抱いて、この時期に入山してみた。積雪は昨年の寡雪とは比べ物にならないような例年並み、破間側に架かる赤い橋を渡り単独者のトレースを辿って林道を進んだ。



- ・やがて下黒姫沢の沢床に入って行くが、穴が開いている箇所が1～2、左右の崖からのブロック雪崩に留意する箇所が数か所ある。沢が狭くなり尾根に乗り上げるが、一般的には単独者のトレースがある右側の尾根を進むようであるが、今回わがパーティは、残雪が十分にあり左の細尾根に乗り上げ上部に向かった。



やがて広いブナ林の尾根を進むようになる。休憩を取って徐々に急になるブナ林をラッセルしながら進み右にトラバースして台地に到達した。天気はこのころには好転してきて、青空が覗くようになり、無木立の広大な台地から、稜線方向の雄大な景色が広がっており、テンションが一気にアップした。白い斜面の向こうに黒姫の山頂が望まれる。まさにグレイトビューである。



先行の単独者は上部には向かっておらず、トレースのない無垢の雪の砂漠を稜線に向かって進んだ。稜線近くになると斜度は増し、やや視界不良になってきた。前日までの弱い冬型で20cm前後の新雪であるが下地がやや硬くなりシュカブラも出てきたため、稜線下20mほどの地点をエントリーポイントとした。今回はクランポン（スキーアイゼン）かアイゼンを持参したが（私はクランポン使用目的にAT仕様とした。TM用のクランポンは持っていない）、時間的にも稜線から黒姫山頂に到達するのは難しく、両方とも使



用しなかった。

- やや風が強く、気温は $-3 \sim -4^{\circ}\text{C}$ 、滑走準備・行動食を採りながら、下部に広がる迫力の山容を俯瞰、写真撮影をした。30度前後、無木立で表面はほぼ平な急斜面、緊張の面持ちで慎重に2～3ターンしてみると、やや重いが滑りやすいパウダーである。後続も思い思いのシュプールを刻んだ。

前週の東谷山で、今シーズン最後のパウダーランを考えていたが、今回も素晴らしいパウダーランではないか。それもこの広大な雪の砂漠を独り占めできるなんて、我々はなんと贅沢であろう。たっぷりお絵描きを堪能し一段落、満面の笑みに記念撮影した。ブ



ナ林のパウダーランもよいけど、この無木立の広大な斜面のパウダーランもいい



ね！！ この時期には大儲けです。

- ・後続パーティが下の台地で何やらテント泊の準備か、そちらの方向からブナ林の尾根に向かうのかと勘違い、先行した小生はGPSを逆さまにしてみても大失態、他のメンバーに促されて軌道修正した。ブナ林に向かう平坦な地形を余韻に浸りながらゆっくり滑走し、登りで台地に乗上げた地点に戻った。ここからは往路より下に向かって左寄りの急斜面・ブナ林を滑走、徐々に激重・湿雪で苦勞するようになり、沢床に到達した。沢床は往路とほぼ変わりなく、本日の雪崩跡は見られなかった。明日目指す浅草岳の頂上付近が真白く望まれる。

沢床からブナ林に乗りあげるところは緩い登り、しばらくシールなしで進んだが、ギブ



アップ、シール装着でフィナーレまで向かったが、健脚の2名は最後までシールなしで行ったとは、恐るべし！！



- いや、このルートは素晴らしいですね！！
雪の砂漠から稜線方向の素晴らしい景色、
そこの大滑走、守門を惚れ直しました。し
ばらくの間、厳冬期のブナ林滑走にうつつ
を抜かし、粉中毒となっていたが、粉中毒
は返上しました。パウダーランだけが山ス
キーではない。このグレイトビュー・大自
然の中に包まれて過ごす山スキー、まだま



だ10年は止められませんね！！

- ・ 宿泊先は伝統のある音松荘、小生は初めてですが、一品一品すべて美味しい料理で税込み7800円、人のよさそうな美人女将とご主人、リピートしてみたいですね。



